

令和7年度 パブリック・コメント手続 実施結果票

計画・条例等名称	天草市持続可能な観光地域づくりアクションプラン
実施期間	令和8年1月22日から令和8年2月19日まで
担当部署	観光文化部観光振興課観光政策係
連絡先	TEL 0969-32-6787
	FAX 0969-23-1999
	E-mail kankou-a@city.amakusa.lg.jp

結果の概要	
意見者数	1人
意見の件数	19件
反映件数	5件

NO	該当箇所	意見の概要	市の考え方	取扱い
1	2ページ8行目 2ページ14行目	生息する→定住する 次の世代に残していくために→次の世代とともに育んでいくために	イルカに関しては、人間と異なり、回遊しているので、生息の表現の方が適していると考えます。 インタープリテーションガイドブック自体は、様々な業種、年齢の方が参加して作成するものですが、ここでは、自然や文化を次世代に残す意味合いが強いため、現行のとおりとしたいと考えます。	その他
2	5ページ8行目	ミナミバンドウイルカ→ミナミハンドウイルカ	ミナミハンドウイルカに修正します。	反映
3	19ページ12行追記	さらに、自然資源の保護と活用、経済的循環を一体的に設計する持続可能なモデルが確立されていないことも課題です。	自然資源の保護を継続するには、経済的循環の視点も必要かと思われませんが、現状では、保護に重点を置くため、現行のとおりとしたいと考えます。	その他
4	24ページ13行目	住民自らが来訪者に→住民ひとりひとりが来訪者に	住民が主体的に行う行動としての意味合いを持たせたいので、現行のとおりとしたいと考えます。	その他
5	25ページ(2)1行目	歴史文化遺産や文化財の保存・継承を→保存・活用・継承を	歴史文化遺産や文化財の保護(保存・活用)・継承に修正したいと考えます。(保護には、保存と活用の意味が含まれる)	反映

NO	該当箇所	意見の概要	市の考え方	取扱い
6	28ページ3項目め ニュアンス付記はどうか？	さらに、自然・文化といった資源の魅力・価値を解釈・伝える インタープリテーションの手法・視点を活用することで市内の ものを取り入れる意味を強みに変え、地域と来訪者を結ぶ 取り組みを進める。	ご意見の要素も考えられますが、インタープリテーションに関 しては、B社会経済のサステナビリティⅡ 社会福祉と負荷に 掲載しているため、現行のとおりとします。	その他
7	29ページ 枠内事例	北海道白川村→トル ・雲仙温泉地区「雲仙をもっと好きになるSTORY」 ・九州ボルケーノツーリズム協議会「鹿児島・阿蘇・雲仙の 価値を来訪者と共有するためにー九州ボルケーノツーリズ ム・インタープリテーション全体計画」 ・富士山箱根伊豆国立公園「富士山麓を歩く旅」をもっと楽し むSTORY」 →天草西海岸も愛称は変わる予定です。(ガイドブックという 表現はIP上好ましくないため)	ご意見を踏まえ、天草市西海岸エリア「天草市インタープリ テーションガイドブック」、雲仙温泉地区「雲仙をもっと好きに なるSTORY」、富士山箱根伊豆国立公園『富士山麓を「歩く 旅」をもっと楽しむSTORY』を事例として掲載します。	反映
8	29ページ 最下段 文 末に追記案 ●安全、治安に関する リアルタイム情報発信	●緊急時の統合的リスクマネジメント 医療体制の連携強化や自然資源を活用する観光地の災 害リスク評価と避難計画、交通インフラの耐災性評価と代替 ルートの周知 ●予防的・リアルタイム情報の拡張 ・天候・災害リスク・人流データを活用した予防的運用 ・地域SNS、LINEアプリ連携で現場の混雑、危険情報を迅速 共有 ●コミュニケーションと教育 ・ボランティア現地スタッフ、アクティビティ事業者向けの安 全教育・対応手順の定期訓練 ・来訪者向けの安全行動ガイド ●体制と責任分担 ・行政・事業者・地域住民・医療機関の役割を明確化した統 括組織の設置 ・緊急時の連絡網、意志決定プロセスの訓練と演習	ご意見に関しては、重要な事項と考えますが、日本版持続可 能な観光ガイドラインに基づき、策定する天草市持続可能な 観光地域づくりアクションプランの範疇を超えるので、現行の とおりとします。なお、ご意見に関しては、天草市地域防災計 画など該当する分野別計画により適切に対応していきます。	参考
9	30ページ下から4行目	有機的に結ぶサイクルルートをつくり→サイクルルートをさ らに活用し（既存のルートはあるので）	ご意見のとおり、既存のサイクルルートも存在しますが、観 光資源や観光施設などが密接に関連し、全体として調和を 持った状態とはいえないので、現行のとおりとします。	その他

NO	該当箇所	意見の概要	市の考え方	取扱い
10	32ページ(1) 32ページ本文1行目	(1)文化財、世界遺産等の保護→文化財、世界遺産等の保護と適切な活用 適切な保護と適切な活用に取り組みます。	ご意見のとおり、活用も大切な要素ですが、保護には、活用の意味も含まれるため、現行のとおりとします。なお、32ページの1行目には、保護(保存・活用)と記載しております。	記載済
11	32ページ、34ページガイド養成等	内容が重複しているため、文化財と自然遺産でかきわけ 32ページ 地域資源の背景にあるストーリーや価値を伝えるインタープリテーションを学び、地域に対する倫理観を大切にエンカール観光を促すガイドを育成します。 34ページ 自然環境を含む地域資源の背景にあるストーリーや価値を伝えるインタープリテーションを学び、来訪者に環境保全につながる選択や行動を促すレスポンシブルツーリズムを促すガイドを育成します。	文化と環境といった分野ごとに書き分けるといった趣旨は、理解できますが、上位計画である総合計画に基づき、ローカルガイドの育成としているため、現行のとおりとします。なお、ご意見を踏まえ、ローカルガイドに関する記載を追加しました。 (追記事項) ローカルガイドとは、自らの地域に暮らしながら、来訪者に対して自然・歴史・文化等の地域資源を案内・解説し、観光客と地域をつなぐ担い手として活動する人材を指します。	参考
12	37ページ3行目 37ページ5行目	また、島原・天草の乱以降→島原・天草一揆以降 野生のイルカが年間を通じて生息する奇跡の海や→野生のイルカが年間を通じて人のくらしのすぐそばに定住する奇跡の海や	島原・天草一揆以降に修正します。 イルカに関しては、人間と異なり、回遊しているため、生息の表現の方が適していると考えます。また、人のくらしのすぐそばにという表現については、趣旨は理解できますが、海域であるため、現行のとおりとします。	反映
13	38ページ下段、39ページ上段の事例	北海道俱知安町DMO、高山の宿泊税→いずれも本市の宿泊・来訪者数と比較するとかなりかけ離れているような印象があるため、天草市の現状に近く、参考になりそうな事例を加えるのはどうでしょうか？ ●鹿児島県阿久根市 鹿児島県阿久根市の「株式会社まちの灯台阿久根」は、既存の観光協会を解散・民営化し、20名以上の株主による出資をもとに組織をリビルドし、道の駅を柱事業として再生させることで自主財源を確立しました。規格外農産物の商品化や水産物の価値を再編集し、都市部との連携による販路拡大や自主事業による収益化を行っています。さらに、まちの個性でもある店舗のリノベーションやコーヒースタンド等の導入により、来訪動機を創出し、観光消費を地域内で循環させながら、雇用や人材育成へと再投資する仕組みを構築しています。補助金依存から脱却し、営利。非営利事業を組み合わせることで観光施策を自立的に支える経済基盤を形成している点が観光財源確保モデルとして示唆に富む事例です。	この項目での事例は、宿泊税に関するものであるため、ご意見にあった鹿児島県阿久根市の事例は、適さないため、現行のとおりとします。なお、紹介いただいた事例につきましては、今後の観光振興に関して、参考とさせていただきます。	参考

NO	該当箇所	意見の概要	市の考え方	取扱い
14	40ページ(3)地域における観光教育の充実基本施策(細目)の追加、サブ指標の追加	<ul style="list-style-type: none"> ●探求学習とインタープリテーションを通じて地域資源を学び、将来的な担い手・ガイド・観光人材の育成につなげる観光教育の体系化を図る。 ・市内小中学校において、探求学習とインタープリテーションを連動させた地域学習プログラムの実施校数および参加児童・生徒数を把握・指標化する。 	まずは、希望による参加を予定していますので、現行のとおりとし、ご提案については、今後の事業展開の参考とさせていただきます。なお、ガイドブックの活用については、29ページに記載しております。	参考
15	40ページ(3)地域における観光教育の充実のサブ指標 3項目	インタープリテーションガイドブック講座→インタープリテーションガイドブック講座	ご意見のとおり、修正します。	反映
16	41ページ(3)地域資源、地域サービス等の活用基本施策(細目)の追加サブ指標の追加	<ul style="list-style-type: none"> ●地域資源の価値を可視化するインタープリテーションを通じて、観光消費の質を高め、地域内経済循環を促進する。 ・インタープリテーションを導入した体験・商品のガイドプログラム数および観光消費単価の推移 	まずは、インタープリテーションに関しては、講座の開催や活用に関する施策や指標の設定による運用に注力しますので、現行のとおりとし、ご提案については、今後の事業展開の参考とさせていただきます。	参考
17	42ページ(1)基本施策	(1)文化財、世界遺産等の保護→文化的資源の保護と適切な活用の継承	ご意見のとおり、活用も大切な要素ですが、保護には、活用の意味も含まれるため、現行のとおりとします。なお、表題を除き、保護(保存・活用)という表現を盛り込んでいます。	参考
18	42ページ(1)基本施策(細目)、サブ指標	<ul style="list-style-type: none"> ●歴史・風習・生業を物語として伝えるインタープリテーションにより、地域文化の継承と担い手育成を推進する。 ・文化資源をテーマとしたインタープリテーションプログラム実施件数および参加者数 	まずは、インタープリテーションに関しては、講座の開催や活用に関する施策や指標の設定による運用に注力しますので、現行のとおりとし、ご提案については、今後の事業展開の参考とさせていただきます。	参考
19	43ページ(3)基本施策(細目)、サブ指標	<ul style="list-style-type: none"> ●自然環境の価値と保全を伝えるインタープリテーションを体系化し、持続可能な利用を促進する。 ・自然ガイド養成数および環境配慮型ツアーの参加者数 	まずは、インタープリテーションに関しては、講座の開催や活用に関する施策や指標の設定による運用に注力しますので、現行のとおりとし、ご提案については、今後の事業展開の参考とさせていただきます。	参考